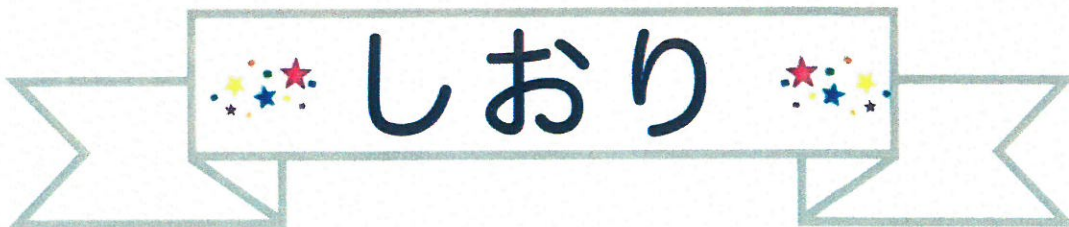




か み な が ふ ち ほ い く え ん



上長湊保育園



社会福祉法人 **上長湊保育園**

<https://www.kaminagabuti.org/>

〒198-0052
東京都青梅市長湊7丁目311番地
TEL : 0428-23-1569
FAX : 0428-22-1400
e-mail : kaminaga@t-net.ne.jp

社会福祉法人 上長洲保育園

し お り 目 次

1	社会福祉法人 上長洲保育園の理念・保育の方法・保育目標・園長の思い	P 1～2
2	上長洲保育園の概要等	P 3
3	年間行事	P 4
4	保育園の一日の目安	P 5
5	お預かりするにあたりお伝えしておきたいこと	P 6
6	保育園からのお願い	P 7～ 8
7	乳幼児突然死症候群(SIDS)について・担当制の保育について	P 9
8	乳児クラス「ひよこ組・りす組・こぐま組」について	P 10～12
9	幼児クラス「うさぎ組・きりん組・ぞう組」について	P 13～14
10	食育・給食について	P 15～16
11	健康について	P 17～18
12	準備する物について	P 19
13	非常災害発生時の場合の対応	P 20
14	個人情報に関する方針	P 21
15	個人情報の取り扱いについて	P 22
16	登園許可証明書	P 23
17	登園届	P 24
18	お散歩マップ	P 25

1

保育園とは

平成27年4月施行の子ども・子育て支援法第19条に基づき、「小学校就学前の子どもにあって保護者の労働又は疾病その他内閣府令で定める事由により家庭において必要な保育を受ける事が困難であるもの」に適用されるお子さんを保育する施設です。

保育理念

乳幼児の愛着関係を大切にし、保育者との信頼関係を深め、遊びや生活の中で様々な経験を積み重ね、生きる力の基礎を身につける。

保育の方法

子どもたち一人ひとりを大切にし、やさしく丁寧な対応を通して、子どもがひとりで出来るように援助することを基本とします

保育目標

明るい子

自分で考える子

やさしい子

園長の思い

私たちの保育目標は明るい子・自分で考える子・やさしい子です。恵まれた自然環境の中生きる力を育み愛される社会の一員として自信をもって歩いていけるようひとりひとりの未来を思い描きながら寄り添っていきます。私たちは、保護者の皆さんと喜びや感動を共有し、悩みや、不安を受け止め安心して通える園でありたいと思っております。

そこで、この上長淵保育園の保育目標を具現化していくために4つの柱を立て保育園経営を展開していきます。

【4つの柱】

【柱—1】＝ 保護者とのより深い連携を図るために、大切なお子様一人一人の個性や特徴を深く理解し、保護者と一緒にお子様の成長を支援していくための保育処方を提供していきます。また、その活動の中で、「言葉使いや所作」・「思いやり」や「人間関係作り」についても、行動見本を垂範した保育を実践していきます。

【柱—2】＝ 各クラスの園児の発達段階に応じた工夫された教材【絵本や遊具・玩具等】を提供し、ぬくもりのある保育を実践していきます。

その活動の中で、お子様たちの探求心や想像力を育むと同時に、自己肯定感を育みながら、より良い人間関係作りのための基本的な生活習慣を身に付けていきます。

【柱—3】＝ 給食室と連携し、食農活動【園舎近くの畑を活用し野菜などの種蒔きや苗の移植を行い、その世話をし、成長過程を観察し、収穫して食べ、収穫物を自宅に持ち帰り家族で食べる活動】の実践を通して、食への興味や食べる意欲を育む保育を実践していきます。また、親子の野菜収穫体験も展開していきます。その活動の中で、物も人も大切する気持ちを育んでいきます。この活動の最終的な目標は、生命尊重の気持ちを育むことです。

【柱—4】＝ 挨拶をはじめ所作や接遇【話を聞く態度や部屋の入退室の所作等】、基本的な生活習慣を様々な活動の中で身に付け、義務教育である小学校入学後に、その成果をいかに発揮できるような保育を実践していきます。

2

上長洲保育園の概要

施設名称	社会福祉法人 上長洲保育園
住 所	東京都青梅市長洲7-311
電話番号	TEL 0428-23-1569 FAX 0428-22-1400
設立年月日	昭和23年7月1日
認可定員	0歳児定員 9名 1歳児定員18名 2歳児定員20名 3歳児定員21名 4歳児定員21名 5歳児定員21名 計110名
開所時間	標準時間7:00~20:00 延長時間18:01~20:00(有料)
特別事業	一時保育＝ 事前登録後面談をし、週3日まで利用可能です。 詳細については担当保育士にお尋ねください。 病後児保育(自園型)＝ 本園に通所している児童が保育中に体調不良となった場合、保護者がお迎えに来られるまでの間、本園において緊急的な対応を図るものです。
職 員	園長・主任保育士・副主任保育士・保育士(非常勤含む)・看護師・栄養士・調理員・事務員・非常勤職員

開所時間

- 【開 所 時 間】 AM7:00~PM8:00
- 【保育標準時間】 AM7:00~PM6:00
- 【延長保育時間】 PM6:01~PM8:00 (有料)
- 【保育短時間】 AM8:30~PM4:30

特別事業 (有料)

- 【一時保育】 市内在住の方で、保護者の方がお仕事・通院・研修等で保育が必要な場合は、週1~3日間の中で、一時的にご利用ができます。
- 【利用時間】 AM8:30~PM5:00
- 【利用料金】 半日(4時間以内)・・・1,500円
一日(4時間以上)・・・3,000円
- 【食 事】 給食320円、おやつ30円

※一時保育につきましては、事前に登録が必要です。親子で面談し、必要書類に記入して頂きます。

年間行事

4月	○入園式 ○個人面談
5月	○歩き遠足(幼児)
6月	○全園児健康診断 ○歯科検診 ○プール開き
7月	○サマーフェスティバル
8月	○プール納め
9月	○引き渡し訓練 ○長洲園慰問(幼児) ○交通公園(4・5歳児)
10月	○全園児健康診断 ○運動会
11月	○遠足(幼児) ○懇談会(5歳児)
12月	○ウィンターフェスティバル
1月	○懇談会・進級説明会(0～4歳児)
2月	○豆まき ○交通安全教室(5歳児) ○鑑賞会
3月	○お別れ会 ○長洲園慰問(幼児) ○卒園式

- 上記のほか、体操指導・保育参加があります。
- 避難訓練・不審者対応訓練・身体測定・乳児検診も随時予定し、毎月の予定表でお知らせいたします。
- 写真購入システム「はいチーズ!フォト」を導入しています。保育参加や行事等にご参加の際にはご家族の方も撮影・販売の対象となりますことをご承知おきください。
- 感染拡大予防等の措置のため、内容月日は都合により変更する場合があります。ご承知おきください。

保育園の一日の目安

1・2歳児		3・4・5歳児	
	開所	7:00	開所
	室内自由遊び		室内自由遊び (乳児保育室)
		7:30	幼児保育室へ移動
	各保育室へ移動	8:30	
	朝おやつ (牛乳又は豆乳)	9:15	
		9:20	朝の会・日課
	クラス活動	10:00	
	昼食	11:00	昼食準備
		11:20	昼食
	昼寝	12:00	昼寝・掃除・クラス活動
		12:30	
		13:00	
		14:00	14:00 戸外遊び 
	おやつ	14:30	おやつ
	自由遊び	15:15	
		15:40	
		16:00	室内自由遊び 
	異年齢	17:00	乳児保育室へ移動
	延長保育	18:01	延長保育

※0歳児は個々の生活リズムで過ごします。成長・発達と共に担任と相談しながら保育園の生活リズムに少しずつ慣れていけるようにしています。

お預りするにあたりお伝えしておきたいこと

(大事なお子さんが集団の中で生活する事について)

保育園で保育するという事は、家庭で保育することとはいろいろな面で違いがあります。子どもたちは、自分と同じクラスの子どもの真似をして、背伸びをして、負けないように競争して、時には、じゃれ合いながら育ちます。

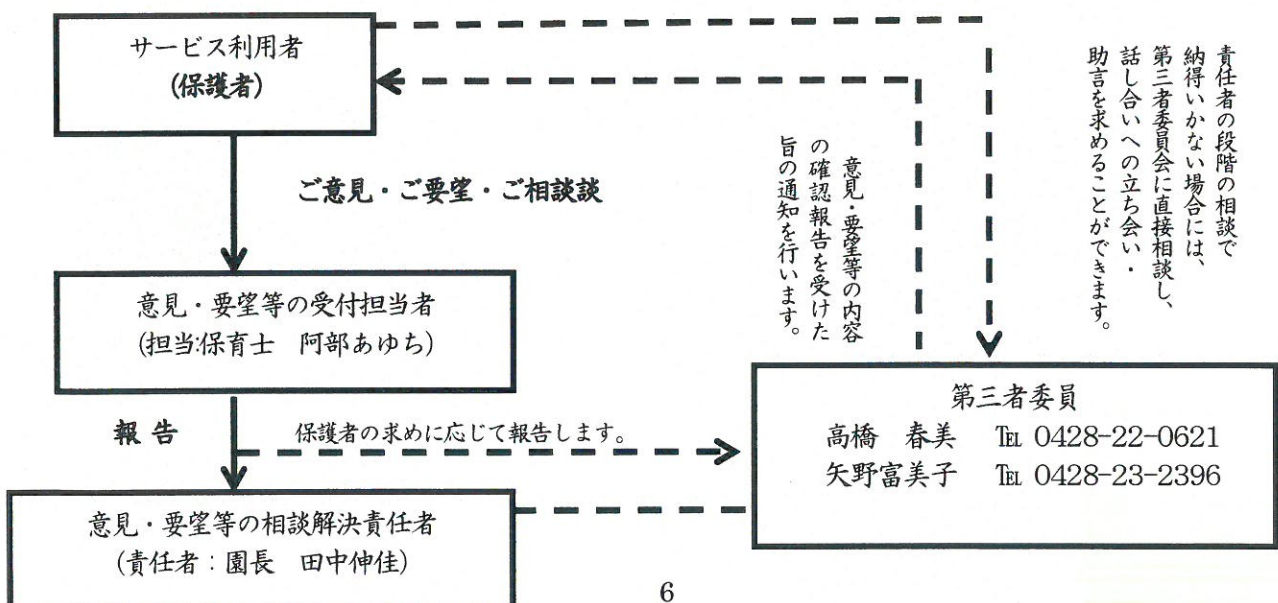
年下の子達と接することで、いたわりの気持ちや優しさが育ちます。年長児に対しては、自分の目標や憧れの気持ちが育ちます。集団での子ども同士の相互作用は、成長する上で欠かすことの出来ないすばらしい経験です。反対に、時には困ることもあります。自分に非がなくても他の子が投げたおもちゃにぶつかってけがをしたり、風邪をうつされることもあります。自分は本を読みたいのに、周りには、にぎやかな子もいます。せっかく作った作品を壊されることだってあるかも知れません。

この様に、両面併せもつ集団の中で、保育者はいろいろな場面に際してひとつひとつ、もつれた糸を手探るように子どもに対応していきます。子どもたちも「相手がいて自分がいる」ということ「自分の思い通りにならないことがあるということ」「気がついて直す」「自分で考える」等、社会に適応する基礎知識を積み重ねながら成長していきます。

迷惑は生きていれば、必ず掛けたり、掛けられるものです。子どもの世界で起こった我が子への理不尽な出来事も、全てのトラブルも成長するチャンスであり、成長途中の一つとして捉えることが必要です。そして、本園の様々な活動を通し、「健康な身体」・「人間関係の構築の仕方」・「自然への興味」・「より良いコミュニケーションの仕方」・「豊かな感性や表現」など、ご家庭と一緒に育んでいきたいと捉えています。

縁あって上長渕保育園に集まった子どもの親として、このことを踏まえた上でお互いに子どもたちの成長を喜び合い、見守っていくという姿勢を持っていただきたいと思います。お子さんについての相談、保育に対する質問、保育園に対してご意見等、ご遠慮なく、ご相談ください。

ご意見・ご要望の解決のための仕組みについて



保育園からのお願い

1 園からのおしらせ

園だより、クラスだより、給食献立（食育だより）、保健だよりを発行し、園の様子をお知らせします。行事等の詳しいことは、手紙によるお知らせ、一斉メール、掲示板、登降園表でお知らせします。一斉メールへの加入をお奨めします。

2 車を離れる時は

保育園は、自治会館の駐車場をお借りしております。車を離れる時には、「ちょっとの間だから大丈夫!」と、カギをかけずに離れることはやめましょう。行事の時は車での登園はご遠慮ください。ご利用の場合は、駐車場利用申し込みが必要となります。事務室までお声を掛けてください。

なお、必ず、カギをかけて、貴重品なども身に付けましょう（自転車の方も）。車から保育園門までは、お子さんと手をつなぎ、目を離さないでください。

◎ 自治会館の駐車場は園の関係者以外の方も利用しております。速やかな送迎をお願いします。また、危険が多く予測できます。十分注意してください。

3 登降園・送迎について

登降園時、インターホンでの対応をお願いします。門扉はしっかり閉めてください。送迎については原則として保護者としておりますが、都合で変わる場合は高校生以上の方が行い、送迎者のお名前・ご関係をお知らせください。やむを得ず中学生以下の方が行う場合は事前に申し出てください。

なお、受け入れ・引き渡しは、玄関となります。



4 登園について

- 1 良い生活リズムをつくるため9:00までの登園をお願いします
- 2 お子さんは朝食を食べてから登園をお願いします
- 3 受け入れの職員にお子さんの健康状態をお伝えください
- 4 欠席及び、登園が遅れる場合は9:00までに連絡をお願いします。病気欠席の場合は症状を詳しくお伝えください。連絡なしに欠席の場合登園時の安全確認のため園から連絡をする場合があります。
- 5 前日に熱がある場合は、できるだけ登園を控えるようにお願いします。（感染症流行時は24時間経過後の登園厳守です。）
- 6 お子さんの状態が園生活に支障がない状態での登園をお願いします。
- 7 登園の時点で37.5℃以上ある場合は、お預かりできません。
- 8 視診後、看護師の判断で病院受診後の登園をお願いする場合があります。

5 降園について

- 1 お迎え時間予定記入時間内でのお迎えをお願いします。
 - 2 お迎え時間に変更がある場合はご連絡をお願いします。
 - 3 連絡なくお迎え時間が過ぎている場合、送迎者の安全確認のため園から連絡をする場合があります。
 - 4 代理の方が送迎される場合、事前に代理の方の氏名、園児との関係を知らせてください。
- ※ 送迎者の変更は登降園表に記入の送迎予定者が園に連絡をしてください。事前連絡がない場合は、お子さんをお引き渡しはできません。**

6 園で体調を崩した場合のお迎えについて

- 1 発熱時、体温が 37.5°C 以上になったら、嘔吐、下痢、食欲不振、機嫌不良、全身状態が良くない場合
ご一報を入れます。 早めのお迎えをお願いします。
- 2 熱が高くなり、繰り返しの嘔吐、下痢の場合は速やかなお迎えをお願いいたします。
- 3 急なお迎えに備えて、連絡がすぐとれるようにお願いします。(お迎えに来られるまでは、病後児保育(自
園型)=体調不良児対応により事務室医務コーナーにて看護師がお世話しております)



7 けが等の状況で受診したほうが良いと判断した場合について

- 1 基本お迎えをお願いすることなく園から病院へ行きます。
- 2 保護者に連絡を入れると同時に、応急処置をして病院へ連れていきます。
その場合、受診する病院をお伝えします。状況により一緒に受診をお願いいたします。
(状況により、保護者に連絡を入れる前に病院へ向かう場合もあります。)
- 3 緊急の場合は、救急車対応をいたします。
- 4 外見上には変化がないのに痛がる等、判断に迷う場合は大事をとって受診します。
※ 上記受診後も園で保育可能な場合はお預かりし、お迎えの際に詳しいご説明をさせていただきます。
**※ 受診時・受診後に保険証・医療証などの持参をお願いいたします。園で医療機関へ持参し手続きをい
たします。**

8 危険予防のためのお願い

- 1 体に合ったサイズの洋服や靴を用意してください。ズボンのすそは、折り返して履くと危険ですので、長
過ぎないものをお願いします。サスペンダー・ベルトは使用せずちょうどよいサイズにしましょう。
- 2 スカートは大きなけがになりやすいので、ご遠慮ください。スカートにレギンスがついたものも、同じよ
うにけがにつながりやすいです。
- 3 フードやひも付きの服、大きな金具が付いた服、ワンピース、は危険が多くなりますので避けてください。
- 4 爪が伸びていると思わぬ事故のもとになりますので、週1回は切りましょう。
- 5 子どもは汗をかきやすいので長い髪の毛はゴムで結び、前髪は視力にも影響しますので目に入らないよう
にしましょう。
- 6 カチューシャは使用せずに装飾のないゴムをお願いします。ピン類は使用できません。**思わぬ事故につな
がることは事前に防いでいけるようご協力をお願いします。**

9 入園時から変更内容があった場合について

- 1 住所、電話番号(携帯電話・メールアドレス)に変更があった場合、事務室までお知らせください。記入変
更をしていただきます。
- 2 親権者変更やお子さんにかかわることをお知らせください
- 3 就労先が変わったら園の書類の記入変更をしていただきます。市へは就労証明書を出してください。所定
の用紙は保育園にもあります。
- 4 退園をお決めになりましたら早めにお知らせください。保育料納入に関係いたします。



乳幼児突然死症候群 (SIDS) について

【厚生労働省ガイドラインより】

SIDS とは、それまで元気だった赤ちゃんが、眠っている間に何の前ぶれもなく亡くなってしまう病気です。平成23年には全国で148人の赤ちゃんがこの病気で亡くなっており、これは生まれた乳幼児の約6,000～7,000人に1人の割合です。そのほとんどが1才未満の赤ちゃんで、生後2～6ヶ月頃に最も多く発症しています。

原因については、窒息などの事故によるものとは異なり、男児、早産児、低出生体重児、冬季、早朝から午前中に多いこと、うつぶせ寝や両親の喫煙、人工栄養児に多いことが研究でわかっているようです。これらはいずれもSIDSの直接の原因ではなく、原因は未だ不明です。

『当園で発症を減らす為に留意していること』

あおむけ寝で眠れるよう見守っていきます

- ・乳幼児突然死症候群を未然に防ぐため、睡眠時は5分おきに担任が様子をチェックし、「睡眠チェック表」に記入しています。(1・2歳児)
- ・0歳児では睡眠時は午睡チェックセンサーを導入し、保育士による睡眠中の園児の状況確認時間をさらに確保し、より一層の安全確保を進めていきます。

[その他]

- ・1歳未満のお子さんはベビーベットやラックなどお子さんに合わせて眠りやすい物を使用し、たっぷりぐっすり眠れるようになりましたらコット(簡易ベット)へと移行していきます。

担当制の保育について

0～2歳児は担当制保育を行います。お子さん1人に対し、毎日同じ保育士が生活面(食事、排泄、着脱等)のお世話を行います。保育園での「お母さん」となり、愛着関係を築きながら、お子さんが安心して保育園生活を送り、少しずつ身の回りのことを自分でできるよう援助していきます。

保育士1人が年齢やクラスの人数に合わせ、3～5人を担当させていただきます。ご家庭での生活を考慮しながら、お子さんの生活リズムに合わせて少人数のグループを作り、食事、睡眠(昼寝)、おやつ等を進めていきます。

生活面のお世話は担当制となりますが、担任全員でクラスの子どもたちの成長を見守っていきますので、不明な点や気になる事がありましたら、お気軽にお話しください。

乳児クラス

ひよこぐみ（0歳児）

遊びについて

保育室は成長に合わせて、遊びのコーナーを工夫して作り、月齢にあった玩具や、机上遊び、手作りおもちゃ等で気に入った遊びを楽しみます。保育室前のテラスで外気に触れたり、園庭では築山に挑戦したり、砂場で感触遊びを楽しんだりしています。

恵まれた自然環境の中、散歩に出掛けたりもします。見て触れて感じたことなど五感の発達を見守るとともに、外を歩くなかで大人が感じたりしたものを、ことばがけすることによって子どもたちと共有し、コミュニケーションの基礎を築いていきます。歩き始めた子どもは、庭での散歩を楽しみ、歩くことに慣れ、足腰を強くできるよう体力作りを行っています。

生活について

身の回りのすべての事を、同じ保育士が関わり、個々を大切に、お子さんが安心して過ごせるようにしていきます。

食事などではお子さんの発達に合わせて離乳食を進めていきます。保護者、担任、栄養士とが連携を取り進められればと思います。初めは1対1でしっかりと関わり、安心して食事が摂れ楽しい時間となるようにしていきます。個々の成長に合わせて、1対2となっていきます。手づかみ食べでも、自分で食べるという意欲を大切に見守っていきます。また、自分で食べる意欲が満足できるよう、手で持ちやすいようなメニュー（手づかみ食べメニュー）も提供しています。

離乳食時期は、アレルギー症状が出るお子さんもいらっしゃいますので、基本にご家庭で食べた食材を保育園では提供していきたいと思っています。そのため、時期がきましたら月齢に合わせた食材表を参考にご家庭で試され、担任にアレルギー症状の有無をお知らせください。

お子さんの月齢にあった離乳食を見て頂き、量や刻み具合等、参考になればと思います。

登園では「森永ドライミルクはぐくみ」を使用しています。アレルギー対応のミルクをお使いのお子さんは担任に相談してください。哺乳瓶は「ピジョン」「母乳実感」です。



りすぐみ（1歳児）



遊びについて

色々なあそびの中で、“歩く”“走る”“登る”“這う”などの全身を使って動くことで、運動機能の発達を見守っていきます。手先の細かい動きも発達し1人で集中して遊び込むことが多くなります。『満足するまで遊べる時間と空間と遊具の環境を保障すること』を大切にしています。また、恵まれた自然環境の中散歩に出掛ける機会を持ち、見て触れて感じたことなど五感の発達を見守るとともに、歩くことに慣れたり、足腰を強くできるような体力作りを行っています。

自我が強くなるこの時期は、遊びの中で、子ども同士ぶつかり合うことが増えトラブルも多くなります。お互いの思いを受け止めつつ、子どもの気持ちを代弁しながら友だちと関わりを作れるようにしています。

食事について

食べ物を手で取って口に入れようとする“手づかみ食べ”から“自分でスプーンをもって食べよう”とする時期になります。子どもが意欲をもって美味しく楽しく食べられるよう一人ひとりにあった調理形態、食具の提供、椅子の高さ等に配慮し落ち着いて食べられる環境作りをしています。また、月に1度、栄養士、調理師、保育士とが給食についての話し合いを行い子どもたちに合った給食を提供しています。

排泄について

トイレトレーニングは個人差もあるので、一人ひとりのペースに合わせて焦らず進めていくことが大切です。最初は便器に慣れることから始めます。個人の排尿間隔を知り、間隔がある程度一定になったら、オムツが濡れる前に便器に座れるようにし便器での成功を増やしていくなどして進めています。

着脱について

「自分で」という気持ちが強くなり、着脱に時間がかかることが多くなります。自分でできるところは見守っていき、さりげなく援助を行い「自分でできた」という満足感、自信が得られるようにしていきます。

そのため、衣類、靴等はデザイン重視の物よりも着脱しやすい衣類が良いかと思います。



こぐまぐみ（2歳児）

遊びについて

発達の著しい年齢です。何にでも興味・関心を持てるようになってくるので、子どもたちの発達・成長に合わせた遊びを取り入れていきます。指先を使った遊び（ハサミ・のり貼り・トング・洗濯ばさみ・紐通し・粘土等）を多く取り入れることで、指先の成長を見守っていきます。

園庭では保育士や友だちと全身を動かしながら遊び、草花や木の実、虫などの自然物に触れたり、砂、泥、水遊び等の感触遊びも十分楽しめるようにしています。

散歩に行く機会も多くし、体力づくりを行っていきます。散歩先の公園などでは、固定遊具(ブランコ・滑り台等)にも挑戦していきます。

食事について

身近な大人や友だちと、食事を楽しみます。食べる様子を丁寧に見守り、一人ひとりに合わせた量の食事を提供することで、食べることに意欲を持ち、様々な食材を「全部食べられた」という完食の喜びを味わえるようにしています。食事の時間は20～30分が目安です。

指先、手首の発達に合わせ、スプーン・フォークの持ち方を知らせたり、食器の移行を進めていきます。

排泄について

トレーニングパンツから布パンツへ移行していきます。個人差があるので、ご家庭と相談しながら無理なく進めていきます。

ズボン、パンツは膝までおろし、男児は男児用のトイレで、女児はトイレトペーパーの使い方も覚えていきます。



幼児クラス

遊びについて

幼児組の保育室にあるおもちゃは一人ひとりの発達に大切なものになっています。その日の遊びは自分で選んで決め、指先・手先を使った遊びに集中して取り組むことで安定感を身につけ、ひとつのものを最後までやりぬき仕上げることで達成感を味わっていきます。遊びながら生活で必要となる箸の使い方はさみの使い方、折り紙の角をそろえて折ること、順序を考えて進めていくことなどを、自然に身につけていきます。

天気の良い日は外での遊びも楽しんでいきます。園庭の山の斜面をのぼり、橋を渡り、走ったり…たっぷり体を動かします。また、砂場で料理を作ったり、ベンチに座っておしゃべりしながら園庭の木々や草花も見えてきます。好きな場所で友だちとたくさん遊びいろいろな経験をしていきます。公園に出かけたり、散歩をしながら交通ルールも身につけていきます。また、各年齢別の活動のほか、異年齢とかかわる時間の中で、真似てできるようになり、一人ひとり自信がつき次には友だちと一緒にしてみようという気持ち生まれていきます。異年齢の子どもたちが一緒に過ごすことで、お互いに刺激を受けながら、社会生活をするうえで大切なことを身につけていけることを願っています。

昼寝について

うさぎ組「3歳」👉 1時間～1時間半を目安に行います。

きりん組「4歳」👉 秋ごろより、ぞう組に向けて希望者のみになります。
お子さんの生活リズムを考えご相談ください。

ぞう組「5歳」👉 行いませんが、希望する方はお子さんの生活リズムを考えご相談ください。



うさぎぐみ (3歳児)

周りの子どもに興味をもち、大人との関係から子ども同士の関係に広がっていきます。友だちと関わることの楽しさを知る一方で「いれて」「だめよ」といったやりとりを経験し戸惑いや葛藤を繰り返していきます。友だちと遊んでいるように見えても、そばで見ているとまだまだひとり遊びの世界が中心の時期でもあります。一人ひとりのペースで友だち関係ができはじめていきます。

食事や排泄、着替え、手洗いなど生活に必要な習慣は「見て見て！自分でできるよ！」「できたね、すごいね！」と認めてもらえることで自信を持って行う事ができていきます。

きりんぐみ (4歳児)

自分中心から友だちの思いにも気づくようになってきます。「～だけど～だから、～する！」というように自分の気持ちを抑えてがまんをしたり、譲ったりすることもできるようになります。抑えきれずトラブルになる事もありますが、繰り返しのなかで優しい気持ちに気がついていきます。その中で自分の良さにも気づき、安心できる環境の中で思いを表現していきます。

生活では、自分でできることが増え、新しいことでもやってみたいと様々なことにチャレンジしていきます。毎日の繰り返しのなかで生活に必要な基本的な生活習慣や態度を身につけます。

ぞうぐみ (5歳児)

集団を意識するようになり友だちの良さに気づいていきます。「みんなといっしょ！」「そうだね、わかるよ！」と、友だちの気持ちを理解し周りから見た自分の姿も意識するようになります。間違えたら恥ずかしい、友だちにも認めてもらいたいなど、葛藤を繰り返し安定した関係を築いていきます。仲間意識ができ、友だちの気持ちも大切にできるようになると、自分たちで役割分担をして同じ目標に向かって活動していきます。

遊びにも広がりが増えていきます。自分たちでルールを決めたり、どうしたらいいのか考えていきます。年長児として下の年齢の子に対して優しくする姿も見られます。生活習慣は安定し身につけ、自分で考え行動していくようになっていきます。



食育・給食について

食べることは、生きるための基本です。また、乳幼児期は『食を営む力』の基礎を培う大切な時期です。

当園では子どもたちの健やかな心身と豊かな人間性の育ちを願って、食事の時間を特に大切にしています。毎日の食事や季節の行事に結びついた食文化を通じて、『健康なからだ・豊かなこころ』を育み、共に食卓を囲む楽しさ、食事時のマナーなども伝えていきます。

(1) 給食について

給食は、安全で質の良い食材を使用し、季節感のある食事になっています。味付けは薄味を心掛け、素材本来の味を大切に、また色彩にも気を配り、感性を育てる食事になっています。また、栄養士と調理師・保育士とが連携し、子どもたちに合った給食を提供しています。

栄養量は厚生労働省が示す栄養給与目標算出例を基に個々の身体状況を考慮して設定しています。

おやつは手作りのものを中心に給食では摂りきれない栄養量を補います。

(0歳児クラス～2歳児クラスの前半(9月頃)までは牛乳・豆乳を中心とした午前のおやつと、15:00のおやつ2回、2歳児クラスの後半(10月頃)～5歳児クラスは15:00のおやつ1回となっています。また、降園が18:10以降になる場合は、軽いおやつ(ヨーグルトやおにぎり等)がです。

☆給食展示☆

毎日の給食を降園時に玄関のサンプルケースに展示を行っています。

※衛生上の都合により写真展示になることがあります。

(2) 衛生について

保健所の指導を受け、掃除、消毒、点検(調理設備・器具・従事者)を常に行っています。

(3) 食器・食具について

○食器について

食器は丈夫で衛生的な高強度磁器食器等を使用しています。

○食具について

・1歳～1歳半頃

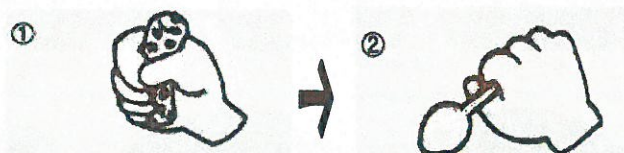
手づかみ食べを十分に行い、手指や手首の発達を促します。

・1歳半～3歳半頃

スプーン→フォークへと移行していきます。

・3歳半頃～

ひとりひとりの3本指(親指・人差し指・中指)・手首などの発達の状況を遊びの中で見ながら、無理なく箸へ移行していきます。

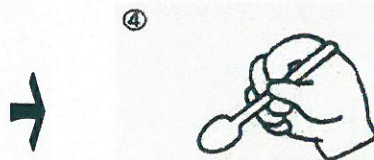


手づかみは食べることの
第一歩です

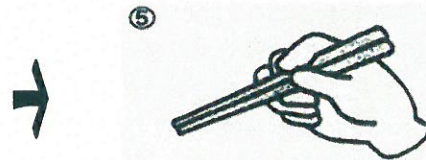
下向きににぎります。



上向きににぎります。



鉛筆持ちになります。



お箸が持てるようになります

※④の持ち方が安定して持てるようになってきたら箸に移行する目安になります。

親指と人差し指の間にある箸を上下に動かす筋肉が発達を促すため、普段から手遊びやハサミを使った遊びをすることにより、箸を正しく持てる基礎ができてきます。

(4) アレルギー・除去食・栄養相談について

成長著しい乳・幼児期の除去食は慎重に進めなければなりません。保護者の独自の判断で食物除去をしないように医師の診断を受け、その指示に従い保護者・保育士・看護師・栄養士との相談の上、対応できる範囲で実施します。

生活管理指導表を提出後にアレルギー除去食の提供となりますが、園での給食では原因食材が完全解除となるまでは、部分除去は行わず、完全除去が原則となります。

例) 卵アレルギー：黄身は可 白身は不可 加熱は可 生は不可 などの内容であれば、保育園では卵の提供は致しません。

安全性の確保を優先するため、土曜日保育利用時は弁当持参となります。ご協力をお願いいたします。

また、食に関して解らないことやお悩み等ありましたらご相談ください。

(5) 保育園での食育活動

食育は充実した農業環境での栽培活動を通して『食農と食育』が繋がることで、五感の発達を刺激し、自然の恵みとして食材や調理する人への感謝の気持ちを育みます。またクッキングでは自分で作る楽しみや身近な大人や友だちと一緒に協力して作りあげ、みんなで食べる喜びを学んでいきます。

★クッキングは主に3歳～5歳児を中心に行います。食育の内容は毎年担任と栄養士、子どもと相談して決めています。4歳～5歳児にかけて毎年『手作り味噌作り』に挑戦しています。秋に出来上がった味噌をさまざまなクッキングに活用しています。

★1～2歳児クラスはその日に使う食材を見たり触れたり、手先を使う『裂く・ちぎる・つぶす』などの下ごしらえにも挑戦しています。

★配膳は、クラスで行っております。個々の発育に応じて乳児組では大人が盛り付けを行います。幼児組では、目安の量を参考に、自分の適量を子どもたちが配膳をするようになっていきます。自分の量を食べ終えた後は、おかわりを楽しめるような環境づくりをしています。また、食卓につく職員や友だちとの関わりの中から、日々食事のマナーや姿勢・食具（スプーン・フォーク・はし）の持ち方などを学んでいきます。

1.2歳児クラスの食事の様子



幼児クラスの食事の様子



食育の様子



(6) 離乳食について

乳児の食欲、成長や発達状況、家庭での食習慣などを考慮し無理なくすすめています。また、『食べる力』を育むため、食べる楽しさを体験できるように離乳食の内容や量を個々に合わせています。

個別に対応した献立表を毎月配布しています。

※粉ミルクと哺乳瓶(乳首)は園指定のものを使用しています。

※〈離乳食のめやす〉の表を参考に月齢に応じ個別に準備します。

※ひとりひとりの発達状況を見ながら、ご家庭、栄養士・保育士と

相談しながら無理なく進めていきます。また、ご家庭の食事についてのご相談もお受けしています。

0歳児クラスの様子



健康について

保育園における、子どもの健康増進や病気への対応と予防は「保育所保育指針」に基づき行われています。乳幼児が長時間にわたり、集団で生活する保育所では、一人ひとりの子どもの健康と安全の確保だけでなく、集団全体の健康と安全を確保に留意する必要があります。

当園では厚生労働省の「保育所における感染症ガイドライン（2018年改正版）」に準じて対応と予防に努めています。保護者のみなさまにはこの点を十分にご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

「発熱した」・「家庭でけがをした」等、いつもと違う健康上の変化があれば、登園時、保育士に必ずお知らせください。保育中に体調変化がみられたときは保護者に連絡をしますので、ご承知おきください。病院を受診するときは医師に「保育園に通っている」ことを話し、登園してもよいか否かを確認してください。

保育園 登園のめやす

	家でゆっくりしましょう	登園できます
発熱	<ul style="list-style-type: none"> ●活気・機嫌が悪く、食欲がない。 ●24時間以内に38℃以上あった。 ●24時間以内に解熱剤を使った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●前日38℃を超える発熱がない。 ●37.5℃以下で活気・機嫌がよく食欲もある。 ●咳・鼻水の症状が悪くなっていない。
咳	<ul style="list-style-type: none"> ●咳のため、夜間に起きる。 ●連続して咳き込む、呼吸がつからそう。 ●機嫌が悪い・食欲がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●連続した咳が出ない。 ●ゼーゼーした呼吸や苦しそうな呼吸がない。 ●機嫌が良く、食事もとれている。
下痢	<ul style="list-style-type: none"> ●24時間以内に2回以上、水様下痢がある。 ●食事をすると下痢になる。 ●朝、排尿がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●24時間以内に2回以上の下痢がない。 ●食事をしても下痢にならない。 ●排尿回数がかいつも通り。
嘔吐	<ul style="list-style-type: none"> ●24時間以内に2回以上嘔吐がある。 ●食欲や活気がない。 ●嘔気があり、微熱がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●24時間以内に2回以上の嘔吐がない。 ●食事をしても吐かない。 ●機嫌が良く発熱もない。
発疹	<ul style="list-style-type: none"> ●発熱に伴って発疹がある。 ●口内炎で食事がとれない。 ●とびひ…顔など患部を覆えない・患部を掻いてしまう。じくじくしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●かかりつけ医の診察を受けた結果、感染の恐れなし、全身状態が良いこと。

(2018年度改訂版保育所における感染症ガイドラインより引用)

発熱・咳・下痢などの症状は、病気を治すうえで必要な体の反応です。しかし、病気が回復していない状態で登園することは、他の園児へ感染を広げてしまうこともあります。保護者が仕事を休めず、頼れる人がいない場合は病後児保育室を利用するなどしてください。

※事前登録が必要です。

青梅ゆりかご第二保育園(病後児保育室【かりん】) [24-4455]

NICOLAND ほいくえん病児保育室 [78-0120]

◎予防接種について

予防接種はワクチンを接種することにより、体に反応を起こして、体内に抗体をつくり感染症にかかりにくくして、病気の重症化を予防することができます。予防接種を受けたら、担任にお知らせください。予防接種後は腫れることや発熱などの副反応が出る場合があります。事前にお知らせいただくことで、様子を見ていくことができます。また、予防接種後は、なるべく静かに過ごしていただくことが望ましいため、予防接種後の登園（当日受診後の登園）は、お避けくださいますようお願いいたします。

◎感染症について

感染症と診断された場合は定められた期間、出席停止となります。医師が記入する登園許可書と保護者記入の登園届があります。感染症によって用紙が異なりますので、ご相談ください。

◎薬について

保育園では原則として薬は預かっていません。

医師の指示のもと、保育園でも塗り薬や目薬が必要と診断され、生活管理指導表等に記載がある場合は保護者と相談し、お預かりしています。

医師が記入する生活管理指導表と与薬依頼書・薬剤情報提供書が必要となり、薬は必ず職員に手渡ししてください。熱性けいれんの既往があり、頓服薬を処方されている場合は必ず園にお知らせください。

※ホクナリンテープ（気管支拡張剤）の使用について

・ホクナリンテープを貼って登園する場合、連絡帳に記載していただくか、職員にお知らせください。園ではがれてしまった場合は貼り直しが出来ませんので、はがれないように紙テープ等で保護してください。

◎健康診断・身体測定について

ひよこ組（0歳児クラス）は毎月、乳児検診を行っています。また年2回（春と秋）に全園児健康診断があります。6月に歯科検診・眼科検診を行っています。

身体測定は毎月測定し、結果は連絡帳（ノート）でお知らせしています。

◎上長渕保育園囑託医 紹介

- | | | |
|----------------|------------|---------------|
| ・井上医院（小児科）井上医師 | 青梅市長渕7-379 | (0428)24-2552 |
| ・中丸歯科 中丸医師 | 青梅市長渕1-9 | (0428)21-5500 |

◎汚れてしまった衣類等について

保健所からの指導もあり、汚れてしまった衣類などは保育園で洗い流さず、そのままの状態（ビニールに入れ密閉させた状態で）でお返しします。

子どもは体調不良を言葉で伝えることができないため、様々なサインを送ってきます。いつもと違うなと感じたときは、いつでも職員にお声かけください。

準備する物について

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
ベッドカバー	○	○	○	○	○	
昼寝用タオルケット	○	○	○	○	○	
バスタオル(夏用上掛)	○	○	○	○	○	
上履き・上履き入れ袋				○	○	○
紙おむつ・紙パンツ	○	○	お子様に応じて	お子様に応じて		
スタイ	お子様に応じて					
衣類 (パンツ・肌着・靴下含む)	○	○	○	○	○	○
汚れもの袋 (ビニール素材の袋)	○	○	○	○	○	○
水筒				○	○	○
サブバック				○	○	○

- 連絡ノートを保育園で用意しますので、毎日ご記入ください。
- 乳児のトートバッグ・幼児の通園リュックは、保育園で用意します。ご家庭で作りたい方は作り方のプリントをお渡ししますので、事務室までお知らせください。
なお、サブバックについては、各ご家庭でご用意いただくか、園よりお渡しすることも可能です。
キーホルダーやキャラクター物(ワッペン等)は付けないでください。
- ベッドカバー・帽子のゴムは必要に応じて交換してください。
- 子どもが身につけるもの(衣類・靴・上履き等)は、サイズのあったものをご用意ください。
- 汚れもの袋には水等で濡れたものも入れますので、ビニール素材の袋をご用意ください。
- 夏場の水遊び・プール遊び用品については使用する時期が近づきましたらお知らせします。
- 紙おむつ・紙パンツ・衣類等は、お子さまが必要な枚数を毎日ご用意ください。足りない物があった場合は、保育園にある新しい物を使用し、購入して頂く形となります。

紙パンツ	パンツ	靴下	帽子	ベッドカバー
50円	200円	100円	880円	0, 1, 2歳用 1, 210円 3, 4歳用 1, 485円

※帽子・ベッドカバーの値段については、業者の都合によりかわることがあります

非常災害発生の場合の対応

○地震

- 1 警戒宣言が発令後、24時間以内に地震が発生すると予知された場合は登園を自粛してください。
- 2 警戒宣言発令後、24時間以上にまたがる時間に地震が発生すると予知された場合、登園を自粛するよう、ご協力ください。

○緊急時の園児引き渡し

保育時間中、近所の災害や地震等の警戒宣言が発令された場合、大雪・台風が接近した場合など、早めに保護者のお迎えをお願いします。

- * 原則として「災害時引き取り者登録書」により登録された方が、引き取りに来てください。
- * 引き渡しは「災害時引き取り者登録書」を元に確認して行います。(年に1度、園児の引き渡し訓練を致します。)
- * 登録書については年度初めにお返しし、確認をお願いしています。変更の場合は記入をしてください。

○災害用伝言ダイヤル171

地震などの災害発生時には、電話がかかりにくくなります。本園では、このような緊急の場合、NTT 災害伝言ダイヤル171 を利用し、保護者の方への連絡を行います。利用方法は、右記の通りです。

*携帯電話、家庭用回線電話より公衆電話が繋がりやすいので、職場近くの公衆電話の場所を確認しておくことをお勧めします。

伝言の再生方法	
171にダイヤルします。	
↓ガイダンスが流れます	
2をダイヤルします。	
↓ガイダンスが流れます。	
市外局番からダイヤルします。	
0428-23-1569	
↓ガイダンスが流れます。	
プッシュボタン式	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 1 # </div>
再生	

避難場所及び避難経路

- 第一避難場所 園庭の東側
- 第二避難場所 長洲7丁目児童遊園
- 第三避難場所 青梅第二小学校



● 東海地震等予知され、警戒宣言が発令された数時間の余裕のある場合、園内又は園庭

